



文部科学省

地(知)の拠点

松本大学公開講座 in 諏訪

主催：学校法人松商学園 松本大学 共催：信濃毎日新聞社

※この公開講座は、松本大学の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」(大学COC事業)の一環として開催します。

「ローカルとグローバル—グローバル時代における大学教育—」

企業活動のグローバル化等にもない急務となっているグローバル人材育成。そこで「ローカルとグローバル」をテーマに、地域の大学としてのグローバル人材育成の必要性や、地元企業のアジア戦略とのために求められる人材、スポーツ界におけるグローバル化とわが国スポーツの在り方、グローバル時代の災害支援の在り方などについて考え、大学教育の可能性を探ります。



とき

平成26年2月1日(土)から3月8日(土)までの計6回

開講時間：月曜18:30～20:30 / 土曜14:00～16:00

ところ

月曜：スワプラザ(諏訪市諏訪1-6-1 ☎0266-52-5070)

土曜：諏訪商工会議所(諏訪市小和田南14-7 ☎0266-52-2155)

<講座スケジュール>

第1回 日時／2月1日(土) 14:00～16:00
会場／諏訪商工会議所

講師：安藤 美香
中国芸術研究院芸術学部中国画学科 博士
略歴／中央美術学院中国画系花鳥画班卒業、同大学中国画系花鳥画班修了課程修了、中国芸術研究院美術系中国画学科博士課程修了。13年間の中国留学期間を経て、日本人初の水墨画での博士課程号を取得。現在は日本に拠点を置き水墨画の発表や理解を深める場を運営している。

「中国留学を通して見た水墨画の魅力」
ワークショップ 水墨画を通じた文化交流
海外に出る若者が年々減少している現状だからこそ、更なる異文化コミュニケーションが必要だと考えます。人との出会いや水墨画に関する体験を交えながら、日本と中国の水墨画にまつわる深い関係性や魅力についてお話します。さらに講演後のワークショップでは、鑑賞する上でのコツや、書き方について説明します。初歩的で実用的なハガキに思いが伝わる水墨画を書いてみませんか? <高校生歓迎>

第2回 日時／2月10日(月) 18:30～20:30
会場／スワプラザ

講師：尻無浜 博幸
松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授
略歴／ルーテル学院大学総合人間学部卒業。介護福祉士養成施設専任教員や病院の管理運営を経て現職。松本市や安曇野市の地域福祉計画策定委員会の委員長等を歴任。現在は、松本市「地域包括支援センター」地域密着型サービス運営協議会会長等も務める。

「ローカルからの始まり」
～東日本大震災支援活動の現状～
あの東日本大震災からまもなく3年、大切なことは見えにくくなっていく現状を、支援活動を継続して行ってきたことを通じて考えます。私たちはグローバル時代に生きています。世界規模の地球温暖化にともなう自然災害が多発する中、出来ることは意外と単純で、ローカルに行動することの重要性を展望してみたいと思います。

第3回 日時／2月15日(土) 14:00～16:00
会場／諏訪商工会議所

講師：等々力 賢治
松本大学人間健康学部スポーツ健康学科 教授
略歴／東京教育大学体育学部卒業。東京教育大学附属高校教諭、長野県短期大学助教授、龍谷大学教授を経て現職。現在は、日本スポーツ仲裁機構仲裁人候補者、松本市交代交通政策検討委員会会長、安曇野市移住・定住促進会議会長などを務める。主たる研究テーマは、現代スポーツ分析及びスポーツビジネス研究など。

「なぜ、スター選手は海外に行くのか？」
近年、プロ野球界でもサッカー界でも、スター選手の海外リグへの移籍が相次いでいます。スポーツ選手であれば、より高いレベルを目指すのは当然なのですが、事はそう単純ではありません。その背景には、アメリカのプロ・スポーツ界やヨーロッパ・サッカー界が展開するグローバル化戦略があるのです。講座では、普段は考えもしない、そうした現代スポーツの実態を、身近な例を挙げながら解剖、解説してみたいと思います。

第4回 日時／2月24日(月) 18:30～20:30
会場／スワプラザ

講師：糸井 重夫
松本大学松商短期大学部商学科 教授・博士(経済学)
略歴／中央大学大学院商学研究科博士課程修了、同大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、文部科学省高等教育局「大学生の就業力育成支援事業委員会」書面審査委員、独立行政法人日本学生支援機構「文部科学省」大学教育・学生支援推進事業「学生支援推進プログラム」評価委員会「評価員、長野県教育委員会「長野県キャリア教育推進協議会」委員・座長等を歴任。

「キャリア教育からグローバル人材育成へ」
経済活動のグローバル化はわが国の経済・社会に大きな影響を与えており、特に、若年労働市場においては失業率が上昇し、学校教育の在り方が問われてきています。そこで、ここ数年、学校教育段階でのキャリア教育が重視されてきましたが、今後はグローバル社会に対応した人材育成が課題となることが明らかになってきています。そこで、本講演では、21世紀に求められる人材について経済のグローバル化との関係で整理します。

第5回 日時／3月1日(土) 14:00～16:00
会場／諏訪商工会議所

講師：中桐 則昭
株式会社イースタン 代表取締役社長
略歴／京都大学経済学部卒業。監査法人トーマツ入所。その後東京中小企業投資育成株式会社執行役員公開支援室長、取締役成長支援部長を経て現職。

「我が社のグローバル戦略と求める人材」
主力事業が輸出中心である我が社は、顧客が海外企業であり、今後ますますその割合が高まります。加えて、変化の激しい業界で勝ち抜いていくために、外向き・前向き志向の人財を必要としています。どのようなスタンスで経営を進めようとしているか、そこで必要とされる人材はどのような人財か、現場からの生の声をお伝えします。

シンポジウム グローバル社会と大学教育

第6回 日時／3月8日(土) 14:00～16:00
会場／諏訪商工会議所

講師：兼村 智也
松本大学総合経営学部総合経営学科 教授・博士(学術)
略歴／早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士課程修了、(財)富士総合研究所(現・みずほ総合研究所)を経て現職。現在、長野県日中交流協会「日中関係を考える連続市民講座」、NPO法人アジア起業家村推進機構「海外派遣人材養成講座」の講師を務める。この間、(社)中小企業診断協会「中小企業診断士試験委員会」、全国商工会連合会「規模事業者・経営実態調査」等の委員を歴任。

「グローバル化と長野県企業」
諏訪地域をはじめ長野県には全国と比べて海外、とりわけアジアに進出する地域企業が多数あります。それだけ長野県経済はアジア経済と密接につながっているわけですが、ここではそうしたつながりについてデータや事例を使って具体的に話しながら、そのなかでも進出先として最も多い中国とタイの近年の動向、そこに進出する地域企業の現状と課題、そして日本や地域に求められる役割とその問題点などについてお話します。

入場無料

但し聴講券が必要になります
各回とも先着70名様

※第1回のワークショップは20名様まで

聴講ご希望の方は、はがき、FAXまたはメールで、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、FAX番号、聴講希望日(講座回数・第1回はワークショップへの参加の有無)と聴講券希望枚数を明記し下記にてお送りください。聴講券を郵送でお送りします。※定員になりしだい締切とさせていただきます。

申込先

●ハガキの場合 〒399-8711 松本市宮田-2-10 信濃毎日新聞松本本社広告部「松本大学公開講座」係
●ファックスの場合 0263-26-8730 ●メールの場合 m-kokoku@shinmai.co.jp

※個人情報取り扱いについて、申込者の個人情報は、聴講券の発行・発送、当日参加者確認など運営に必要な事務のために利用します。

お問い合わせは／信濃毎日新聞松本本社広告部 TEL:0263-25-2153まで